

# 生涯学習だより



## 郷土に学ぶ【なつ】…ほこれる郷土

～かみしほろの健やかな育ち～

年間テーマ 「意外と知らない？みんなの学び」

### 「生涯学習」っていう言葉、耳にすることが多いけれどな～に？

「生涯学習」ってなんだろう。  
ふと疑問に思ったことはあります  
なんか？私たちが発行する「生涯学  
習だより」にも生涯学習という言  
葉が使われています。この生涯学  
習という言葉、一言で説明すると  
「生涯にわたって行う学習活動」  
です。

わたしたちは生まれてからずつ  
と様々な学習機会に出会い、学習  
することがらを広げていきます。  
それは、家庭や学校での学習活動  
だけではなく、自らの趣味やスポ  
ーツ・文化活動、ボランティア活  
動など幅広い分野で、それぞれが  
自らに合ったやり方を選択しながら  
行われています。ふと思い返し  
てみると、これって生涯学習だっ  
たのだと気付く事がたくさんあり、  
どれも自身が豊かで充実した日々  
を送りつづけるためには欠かせない  
ことがあります。それでも自分が豊か  
な日々を送るためにには欠かせない  
ことがあります。

「生涯学習」ってなんだろう。  
ふと疑問に思ったことはあります  
なんか？私たちが発行する「生涯学  
習だより」にも生涯学習という言  
葉が使われています。この生涯学  
習という言葉、一言で説明すると  
「生涯にわたって行う学習活動」  
です。

「生涯にわたって行う学習活動」  
を他の人に伝える場があるという  
ことが大切です。自分には普通の  
ことがらであっても、他の人にし  
てみれば、とても魅力的な活動で  
あることがたくさんあります。そ  
ういった普段の生活だけでは気が  
付けないことがってあるのではない  
かなと思います。

「生涯学習」ってなんだろう。

現在、上士幌町では「生涯活躍」

が つの大きなテーマとなっています。

ます。生涯にわたって活躍するた  
めには、皆さんのがこれまでの学習

で培ってきた「知恵」や「技術」

を他の人に伝える場があるという  
ことが大切です。自分には普通の

ことがらであっても、他の人にし  
てみれば、とても魅力的な活動で  
あることがたくさんあります。そ  
ういった普段の生活だけでは気が  
付けないことがってあるのではない  
かなと思います。

なるべく色んな場所で、なるべ  
くたくさんの人との関わりの中で、

教えてたり教えられたり、相互に関  
わりを持つことが充実した毎日を

過ごすことに繋がります。

上士幌町では町民向けの様々な

事業に取り組んでいます。興味が  
ある事業やイベントに参加してみ  
るときっと面白いですよ。

皆さんの力をお借りしながらもつ  
ともつと活発で元気な上士幌町に  
していきたいですね。

### ●お詫びと訂正

本誌、七月号に掲載しておりま  
す記事中、左記につきまして内容  
に誤りがありましたのでお詫びし  
て訂正いたします。

生涯学習だより春号四ページ目  
「紹介No.3 誕生会」の団体情  
報。

①「活動日 月末の日曜日18  
30

」は、正しくは「活動日 主  
に月末の日曜日（月によって時  
間は異なります）」です。

②「活動場所 ふれあいプラザ」  
は、正しくは「活動場所 主に  
ふれあいプラザ（都度、チラシ  
等にてご確認ください）」です。

③「対象・全町民」は、正しくは、  
「対象 どなたでも」です。

以上のように訂正し、ここに謹  
んでお詫び申し上げます。



保養に訪れていたご家族とBBQを楽しむ長尾さん（写真左）

杉森委員 会を立ち上げたきっかけはなんですか？

長尾さん 3・11東日本大震災の1週間後、町内有志ボランティアが集まつて支援物資を現地へ届けたのが始まりです。その後の原発事故がきっかけとなつて、「上士幌でも脱原発の声を上げよう！」と。

杉森委員 このような活動を行なつているのですか？

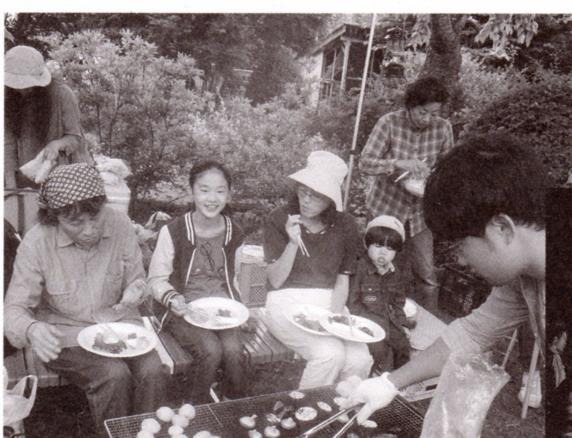
長尾さん 内部被ばく軽減のための保養を目的とした家族の町内滞在支援と、いわき市や周辺地域の保育園など、子どものいる施設へ収穫したじやがいもを寄付しています。

杉森委員 活動の目的はなんですか？

長尾さん 「脱原発」と聞くと、固いイメージがあると思いますが、放射能の問題は他人ごとではなく、健康に生きようとする普段の生活において誰の上にもふりかかる、実はごく身近な問題なんだということ。このことを、活動を通じてより多くの



気球に乗ったり…



BBQをしたり、花火をしたり



人に知つてもらいたい。より多くの人に賛同してもらいたいんです。

杉森委員 会を立ち上げたきっかけはなんですか？

長尾さん 3・11東日本大震災の1週間後、町内有志ボランティアが集まつて支援物資を現地へ届けたのが始まりです。その後の原発事故がきっかけとなつて、「上士幌でも脱原発の声を上げよう！」と。

杉森委員 このような活動を行なつているのですか？

長尾さん 内部被ばく軽減のための保養を目的とした家族の町内滞在支援と、いわき市や周辺地域の保育園など、子どものいる施設へ収穫したじやがいもを寄付しています。

杉森委員 活動の目的はなんですか？

長尾さん 「脱原発」と聞くと、固いイメージがあると思いますが、放射能の問題は他人ごとではなく、健

康に生きようとする普段の生活において誰の上にもふりかかる、実はごく身近な問題なんだということ。このことを、活動を通じてより多くの

## 意外と知らない？みんなの学び

### 紹介 No.4

## がみしほろ5000本ひまわりの会

代表 長尾 正子さん

※お問い合わせは教育委員会まで！

活動日 通年（主に夏休み期間中）

活動人数 15名プラス活動ごとにサポーター多数

活動場所 はげあん診療所、町内住宅等

取材時、栃木県から家族で保養に訪れていた峯石さんのコメント

峯石さん 「保養のためのホームページを見て活動を知り、今回が2度目の滞在となります。町に関しては、子育てに手厚い環境であることと、障害のある方もそうでない方も一緒に行事を楽しむ雰囲気を感じて、将来に希望の持てる、開けた町という印象を持つています。」「こちら（上士幌）にくると、蛇口をひねった水をそのまま飲める安全感があります。」

### 情報委員の所感

取材担当 杉森 恵子 委員

取材に訪れたのは、はげあん診療所のお庭にて峯石さん一家の歓迎会を開いているとき。

代表の長尾さんからは、情熱のあるお話を伺うことができました。大事なことは一人でだまつて考えていたつて始まらない。一人、一人とつながつていけば、やがて大きな一歩になる。峯石さんのお子さんたち（小6女の子と3歳男の子）の笑い声と、まわりで見守る大人たちの笑顔がとてもあたたかい、とてもステキな夜でした。



ミニ四駆よりも実はPCゲームが好きだという代表の三島さん  
(イラスト)

## 意外と知らない?みんなの学び

### 紹介 No.5

# M M D S (みしま ミニ四駆 同好会 佐々木)

代表 三島 幹雄さん

### 団体情報 ※お問い合わせは教育委員会まで!

活動日 不定期(月に1回程度)

活動場所 生涯学習センタ わっか等

対象 全世代(熱い情熱をもった方)

所属人数 15人

楠委員 会を立ち上げたきっかけは  
なんですか?

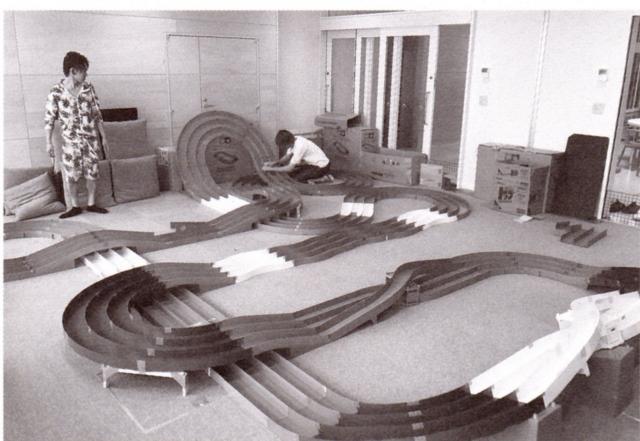
三島さん 職場の同世代同士で幼少の頃よく遊んだ「ミニ四駆」をまた始めようと話したのがきっかけ。その後職場内でミニ四駆熱が加速し、友人や子ども達に飛び火。定期的に走行会をするようになりました。

楠委員 活動の目的はなんですか?

三島さん 十勝にはミニ四駆を走らせる環境が殆ど無いので、町内で好きなだけ走らせられる環境を作りたい。また、ミニ四駆はもちろん、様々な情報交換、世代間交流を行う場にもしていきたい。

楠委員 どんな活動を行なつてているのですか?

三島さん 一つ二十メートル長のコースを四つ五つ使い、バンクカーブやスロープセクション等を組み合わせて、見えていてもハラハラ、ドキド



コース設営の様子

### 情報委員の所感

取材担当 楠 政幸 委員

自身も参加させてもらつていて、メンバーや個性も楽しく、また、子どもから大人(女性も)まで幅広く、色々な情報交換の場にもなっています。

また、若い力で町を盛り上げようと、ミニ四駆だけではなく、仮装パーティ等も実施しています。ぜひ一度、皆さんにも参加していただきたいです!



M M D S メンバーの  
ミニ四駆



子どもから大人まで多世代が参加!



糠平に関する歴史資料をお持ちの方は連絡を  
いただけないと嬉しいと語る中村さん

## 意外と知らない？みんなの学び

### 紹介 No.6

# ぬかびら時間旅行展実行委員会

事務局 中村 健次さん

### 団体情報

※お問い合わせは教育委員会まで！

活動日 6月～10月頃（写真の展示期間）

活動場所 ぬかびら源泉郷内

所属人数 3人

**木村委員** 団体が立ち上がりたきつ  
かけはなんですか？

**中村さん** たまに出てくる糠平の過去の写真を見ては、「ここは今の○○かな?」、「こんな感じだったの?」と盛り上がる事があり、これは他に興味がある人も多いはずと思い、掲示することにしました。

**木村委員** どんな活動を行なつているのですか？

**中村さん** 過去の糠平の写真を、現在の実際の場所（十箇所）に設置することにより、初めて糠平に来た方にも当時の情景が伝わり易いように展示しています。訪れた方に時間旅行をしているような体験をしてもらいたい。

**木村委員** 今後どんなことをやつてみたいとお考えですか？

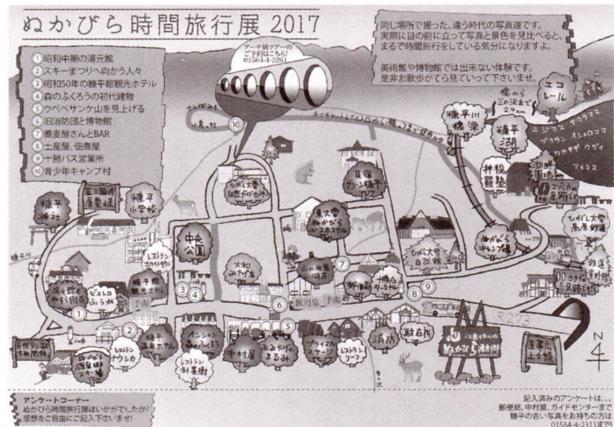
**中村さん** 「ぬかびら源泉郷開湯百年」に向けて作成する史紙に、この事業で集めた情報を活かしたい。

**木村委員** 町内で活動を活かせるとしたらどんなことがありますか？



展示の様子

### ぬかびら時間旅行展 2017



「ぬかびら時間旅行展 2017」のマップ

### 情報委員の所感

取材担当 木村健太郎 委員

所属している方は、みなさん町外からの移住者で、それぞれ観光従事者でもある。

元来、歴史が好きな方々の自分が住んでいる地域のことを深く知りたいという想いから始まつたが、結果、訪れる方にも魅力が伝えられるツールになっている。

写真展を見ることにより、現在のぬかびら源泉郷だけでなく過去にも旅行しているようで面白い取り組みをされていると思った。



展示の様子